

□
横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.129 (2015年 1月 30日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 (株) パソナメディカル
□

本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC) 事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、ウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた方、各関係機関および企業の方にお送りしております。



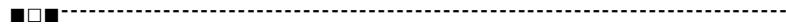
1. -----■□■

<WBC 事務局より> ~お知らせ~
【WBC ホームページを更新しました】

WBC ホームページでは、関係機関で開催されるセミナーやイベントのご案内などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。
<http://www.ywbc.org/>

WBC では無料でビジネス相談を受け付けております。お電話や来訪での相談のほか、インターネットからのお問い合わせも可能です。
↓WBC 海外ビジネス相談はこちらから
<http://www.ywbc.org/cgi-bin/contact2/contact2.cgi?lang=ja>

横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC)
横浜市中区新港 2 丁目 2-1 横浜ワールドポーターズ 6F
TEL: 045-222-2030
FAX: 045-222-2088
E-mail : open@ywbc.org

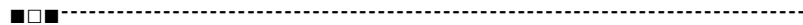


2. -----■□■

<WBC 事務局より> ~お知らせ~
【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。
関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓WBC Facebook はこちらから
<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>



3. -----■□■

<横浜市及び WBC 事務局より>
【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業 (日本法人及び日本支店、駐在員事務所) 向けで、入居後 3 年以上の事業計画があり、WBC を退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は 3 年以内となっています。

WBC に入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBC の会議室等を無料でお使いい

ただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBCの各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業のPR・お知らせ等にご利用いただけます。

↓WBC インキュベーターオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベーターオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp

■□■

4. -----■□■

<WBC 事務局より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【～アセアン諸国のミャンマー～】

先般 NHK テレビのミャンマー特集番組をみる機会があり、国土の中央を縦断しているエーヤーワディー川沿いに隣接している都市、村落、自然風景及び人の暮らしぶりが紹介されていました。中でも 11～13 世紀に建てられ、世界三大仏教遺跡の一つであるバガンの光景は、3 千以上の仏教建築が点在し、インドネシアのボロブドールの仏教遺跡に匹敵するものでした。ビルマ（1989 年までの名称）と言えはくビルマの豎琴>が連想されるほど、筆者世代の日本人には馴染み深いものでした。この映画は市川崑監督の下、1956 年（主演：安井昌二）及び 1985 年（主演：中井貴一）と二度にわたり上映された反戦映画で、数々の映画賞を受賞した作品です。この映画で登場した豎琴は伝統弦楽器（王朝時代の宮廷楽器）であり、主人公が奏でること、で敵味方を超えた心の交流をもたらした感動的な映画でした。

ミャンマーは、インドシナ半島西部に位置し南北に長い国土が特徴で、北東に中国、東にラオス、南東にタイ、西にバングラディシュ、北西にインドと国境を接しています。人口は 5 千万人を超え、135 の多民族国家です。同国民の 90%が仏教徒で公用語はビルマ語ですが、隣国諸国と比べると比較的英語が通じ易く、国民の識字率も 90%を超えています。同国は極めて親日国と言われ、大学生が習う外国語の一番が日本語と言われています。今般、2014 年に同国と日本の外交樹立 60 周年にあたる事を記念して、4 頭の象が北海道の丸山動物園に寄贈される事が合意され、更なる交流の機運が高まっています。同国は日本製品への志向が強く、中古自動車市場では日本製が 9 割を占め、電化製品を含め彼らのブランドになっています。また、ミャンマー人は義理人情に厚く、比較的温和で控えめな性格であるとも言われています。同国は、人口の約 7 割が農村に住み、現在、より良い就業機会を求めてタイ、シンガポールに 300 万から 400 万人が出稼ぎに出ていると言われます。アセアン諸国の中では、経済成長面では立ち遅れているのが現状ですが、天然資源であるヒスイの産出量で世界最大を誇っています。2011 年の民政移管後<アジア最後のフロンティア>と呼ばれるようになり、今後の経済成長が期待される中、外資系企業の進出の動きが活発になり、同国の持つ豊富な天然ガス、原油等の資源開発への投資が増加傾向にあります。日本も昨年 11 月に安倍首相がミャンマーを訪問し、円借款及び無償援助支援を表明し、同国の産業発展の支援策を打ち出しています。

2015 年中に<欧州経済共同体：EU>に匹敵するアセアン諸国の域内市場統合を進める<アセアン経済共同体>の発足が予定され、今後は世界の経済をアセアン諸国が牽引していく時代が到来すると予見されます。しかしながら現在危機的な地球温暖化が進む中、アセアン諸国に共通する山深い緑の素晴らしい自然の美しさを保存しながらの経済発展を目指して欲しいと願うものです。

（執筆：WBC アドバイザー 屋島）

■□■

5. -----■□■

<横浜市より> ～「Y-PORT ワーキング」開催のお知らせ～

【「第 11 回共創 Y-PORT ワーキング」開催のお知らせ（参加者募集） 2/5】

横浜市 Y-PORT 事業では、企業の皆様の海外展開支援を目的とする情報提供の場として、『Y-PORT ワーキング』を開催しております。今回は、海外の都市開発において Y-PORT と連携しているアジア開発銀行 (ADB) 様及び国際協力機構 (JICA) 様から、ビジネスマッチングや企業の海外展開支援策の公募情報等についてご紹介いただくとともに、ベトナム国ダナン市訪日研修団来浜の機会を捉え、ダナン市より当地のインフラ事業ニーズ等を紹介していただく予定です。ダナン市からは財務局副局長をはじめとして、計画投資局、建設局、天然資源環境局等から関係者が出席され、参加企業との交流会 (名刺交換会) も予定しております。

成長著しい新興国都市の開発に関するフレッシュな情報の提供と、現地関係者と参加企業のネットワーク形成の機会と考えておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◆開催日時： 2月5日(木) 13:45~17:15 (13:15 開場)

◆開催場所： 関内新井ホール 関内新井ビル 11階

(神奈川県横浜市中区尾上町 1-8、JR 線関内駅徒歩 5 分程度、市営地下鉄関内駅徒歩 5 分程度)

◆内容：

テーマ：「ベトナム社会主義共和国ダナン市における公民連携による都市開発」

1 ADB 様によるご講演

2 JICA 様によるご講演

3 横浜市のダナン市での取組について

4 ベトナム社会主義共和国ダナン市の都市開発について

5 交流会 (名刺交換等)

◆参加費：無料

◆申込締切：2月4日 (水)

↓詳細・お申込み方法はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/yport/yportworking.html>

または、下記の情報をご記入の上、

ss-yport@city.yokohama.jp

宛に電子メールをご送信ください。

◆参加者情報

◇氏名：

◇企業・団体名：

◇部署名：

◇役職：

◇メールアドレス：

◇電話番号：

◆以下について、該当するものに (○) をご記入ください。

◇中小企業基本法による分類：中小企業者に

該当する ()、しない ()、その他官公庁など ()

◇参加要件 (複数回答可)：市内に本社がある ()、

市内に営業拠点等がある ()、横浜市及び市内企業との連携を具体的に検討している ()

<お問い合わせ>

横浜市政策局国際技術協力課

TEL：045-671-4396

FAX：045-664-3501

Email：ss-yport@city.yokohama.jp

■□■

6. -----■□■

<広報協力> ~日本国際貿易促進協会よりお知らせ~

【第1回日本伝統工芸品展 in 北京 出展企業募集のお知らせ 3/31 申込締切】

日本の伝統工芸品を通じて、日中の相互理解を深めていく北京での初の日本伝統工芸品の展示・即売会です。5日間の会期中中国の富裕層を主体として約8,000人の来場を見込んでいます。展示会終了後もネット販売を利用し、継続販売が可能です。

日本の伝統工芸品を中国へ拡販する機会としても御検討願います。

- ◆開催日程：10月16日（金）～20日（火）
- ◆会場：北京市懋隆文化産業創意園（北京市朝陽区三間房東路1号）
(<http://www.bjartscrafts.com/>)
- ◆出展料：1区画（12m×2m（24平米））135万円
1ブース（2m×4m（8平米））45万円
- ◆出展範囲：展示及び販売が可能な日本の伝統工芸品
- ◆申込締切：3月31日（火）
- ◆主催：日本国際貿易促進協会、北京工芸嘉貿易有限責任公司

↓詳細・お申込みはこちら
<http://www.japit.or.jp/index.html>

<お問い合わせ>

日本国際貿易促進協会
 業務本部

担当：田中、戸村

TEL：03-6740-8271

FAX：03-6740-6160

Email：m-tanaka@japit.or.jp, tomura@japit.or.jp

■□■

7. -----■□■

<広報協力> ～IDECよりお知らせ～

【サブコンタイランド2015 出展・バイヤー企業を募集します！ 2/10申込締切】

タイ国投資委員会主催の「Subcon Thailand 2015」が2015年5月13日（水）から16日（土）にバンコクで開催されます。タイ、アセアン、日本など12カ国以上から産業部品メーカーが出展します。2014年は、16カ国、20861人のバイヤーが参加しており、ビジネスマッチング・プログラムでの商談件数は3826件（2013年は3540件）となっています。

IDECでは出展企業を募集しています。タイ、アセアンへの販路開拓、市場調査、新たな調達先を発掘の場として、この機会を利用してみませんか？

また、バイヤーとして参加をご希望の方は、展示会主催者の「バイヤー・サポートプログラム」をご活用ください。

【展示会概要】

- ◆開催日程：5月13日（木）～16日（土）
- ◆会場：タイ国バンコク国際見本市会場（BITEC）
(総面積6,000平方メートル、350ブース（予定） <http://www.subconthailand.com/>)
- ◆主催：タイ国投資委員会（BOI）、UBMアジア（タイ）株式会社

【出展募集概要】

- ◆募集対象企業：横浜市内に事業所を持つ企業 3社
- ◆出展料：7万円程度（予定）
※標準ブース1小間（3m×2m）を出展企業で分割します
- ◆IDECによる支援：
 - ・出展に係る一部費用の優遇を予定しています。
 - ・レンタル工場現地視察や、アジアサポートデスクと連携した現地サポート。
- ◆申込締切：2月10日（火）
※募集件数に満たなければ実施しない場合があります。

【「バイヤー・サポートプログラム」概要】

- ・現地宿泊費無料提供（最高5泊分）
- ・空港⇄ホテル、ホテル⇄展示会場の無料送迎
- ・バイヤー企業用展示ブース(9平米)のご利用
- ・各種セミナーへの参加
- ・ローカル企業工場見学
- ・懇親会

↓詳細はこちら

http://www.idec.or.jp/kaigai/whats_new/20141219154339.php

<お問い合わせ>

横浜企業経営支援財団 (IDEC)

国際ビジネス支援部

TEL : 045-225-3730

FAX : 045-225-3737

Email : global@idec.or.jp

■□■

8. -----■□■

<広報協力> ~横浜インドセンターよりお知らせ~

【南インドタミル・ナドゥ州投資環境セミナー開催のお知らせ 2/20】

近年、インドには自動車関連産業の集積に伴い、日系企業の進出が増加しています。神奈川県では、県内中小企業のインドでの事業展開支援、インド企業の誘致促進を目的として、タミル・ナドゥ州と昨年11月に経済交流に関する覚書を締結しました。覚え書に基づく取り組みの第1弾として、南インド投資環境セミナーを開催いたします。インドへの海外進出や事業展開に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

◆開催日時：2月20日（金）

第1部 セミナー 15：30～17：45（開場 15：00）

第2部 交流会 18：00～19：30

◆開催場所：ワークピア横浜 第1部：2階おしどり 第2部：2階くじやく
横浜市中区山下町24-1 (<http://www.workpia.or.jp/index.html>)

◆参加費：セミナー無料、交流会2,000円

◆定員：100人

◆申込締切：2月17日（火）

◆主催：神奈川県、タミル・ナドゥ州、(一社)横浜インドセンターほか

◆後援（予定）：横浜商工会議所、横浜市経済局ほか

↓詳細・お申し込みはこちら

<http://www.yokohama-india-centre.jp>

<お問い合わせ>

神奈川県 産業労働局

産業・観光部国際ビジネス課

担当：樋口

TEL : 045-210-5567

Email : intlbiz_k@pref.kanagawa.jp

■□■

9. -----■□■

<広報協力> ~JETRO 横浜よりお知らせ~

【外資系企業サポートセミナー開催のお知らせ~外資系企業特有の税務、人材採用、人事・労務管理に関する留意点など~ 2/17】

神奈川県は、神奈川県内に進出いただいた外資系企業の皆様への継続的なサポートにとりくんでおります。そのサポートの一環として本年度も外資系企業様向けのセミナーを開催いたします。皆様のご来場を関係者一同、心よりお待ちしております。

◆開催日時：2月17日（火）14：00～18：00（13：30受付開始）

◆開催場所：神奈川中小企業センタービル14F（横浜市中区尾上町5-80）

◆内 容：

1 財務・税務：ストックオプション/役員報酬に係る税務の取扱い、国際税務最新情報 UPDATE

2 人材採用：変化する転職市場における外資系企業の効果的な人材採用戦略術

- 3 人事・労務管理：外資系企業の様々な労務トラブル事例からみる就業規則の作り方
- 4 神奈川県の外資系企業誘致施策について
- 5 ネットワーキング（交流会）

◆参加費：無料

◆定員：50名

◆申込締切：2月13日（金）

◆主催：神奈川県、（公財）神奈川産業振興センター、ジェトロ横浜

↓細詳・お申し込みはこちら

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531959/>

<お問い合わせ>

（公財）神奈川産業振興センター

事業部国際課

担当：鈴木

TEL：045-633-5126

Email：kokusai@kipc.or.jp

■□■-----